

# futbol y vida

Poco a poco ...  
 poco a poco ...



冬の鍛錬期は再延長戦へ!!  
 サッカー部員は卒業時に違いを見せる??

## 史上最弱チームの冬の鍛錬期は再延長!!

## 片倉高校サッカー部の冬の風物詩「寒稽古」第二弾も無事に終了!!

片倉高校サッカー部冬の鍛錬期の代名詞である「寒稽古」第二弾は、今年度も修学旅行の日程の関係で2月5日のあと修学旅行後13日～16日の変則日程での実施となりました。今年度は暖冬の影響で例年よりも二週間も早く「春一番」が吹くなど季節は前倒し。今年は「寒稽古」というよりは「暖稽古」となり、寒さが和らいでいるように感じました。



「寒稽古（朝練習）」は、チャレンジする子どもたちを成長させます。早起きするために、自分自身で起きる強さや生活のリズムを整え、友だちが夢を見ている時に寒稽古に向かいます。主体的に生活をコントロールすることに繋がります。また、「苦しい場面での一歩」が出るか出ないかは、全てを賭けて取り組まなければ手に入れることはできません。高校三年間はそれを手に入れるための大切な時間で、厳しさから目を背けていたら大事な時に脳や身体は思うようには動きません！人間の脳と身体はそういう風にできています。常に全てを出し尽くすギリギリの生活を継続していくためには「高い意識」がないとできません。そのためには、規則正しい生活、授業をしっかり取り組む、挨拶をする、時間を守る、場を整えるなど「凡事徹底」が大切です。日常の生活の中でその程度の辛いことができなければ、苦しい局面でもう一歩走ることにはできません。ヒントは日常の生活の中にあります。年に二週間の寒稽古だけではもちろん足りませんが、そのきっかけになればいいと思っています。



⊙寒稽古はチャレンジする子どもたちを作るチャンス⊙

## 🏆 第八回 K's football 少年サッカー大会 🏆

～令和から未来へ、日本のフットボールを変えるのは君たちだ 七年後ここからW杯出場選手を～

3月3日(日)、昨年完成したばかりの日本文化大学グラウンド(さくらフィールド)で「**第八回少年サッカー大会**」を行いました。今年度最後のサッカー大会の開催となります。参加チームの12チームは、ほとんどが現部員のジュニア(小学校)時代の出身チームであり、今の彼らのベースを作った場所です。多くのコーチや保護者の方のお陰で現在の自分たちがあるので、その恩返しと少しは成長したところを見てもらうことができたのではないかと思います。高校生にもなると身体だけは大きくなり、生意気そうに見えるかもしれませんが、小さい頃の面影は残っているようです。やはり、自分の教えた子どもたちが高校でもサッカーを続けて、小学生(後輩)たちに関わっている姿は嬉しいもので、多くのコーチ陣からそのような言葉を掛けられました。中には久しぶりに再会するコーチたちと懐かしそうに話しをする姿も見られ、この大会の開催の目的のひとつでもあり、少年サッカー大会の意義を感じています。

この中から、数年後に片倉高校サッカー部に憧れてユニフォームに袖を通し、高校サッカーで活躍するサッカー少年が現れることが夢ですね。現在、第一回大会に出場した中学二年生が既に練習に参加しています。増えてくるといいですね。

**小学六年生諸君、卒業おめでとうございます!!**

六年生は最後の大会になりますが、中学に行ってもサッカーを続けて下さい。片倉高校のグラウンドで再会できることを願っています。今後の活躍を片倉高校サッカー部一同祈っています。



### <After the Game>

「我以外皆我師」という言葉があります。片倉高校サッカー部では、大会で結果を出すために日々のトレーニングを行っています。『**futbol y vida**』というスローガンを掲げて子どもたちが心身ともに成長できるように、他校では行われていない取り組みをサッカーを通して継続して行っています。その一つが、今回で三年目(毎学期)になる少年サッカー大会です。大会当日は準備、運営、審判、子どもたちの世話役など全て高校生が行います。もちろん、上手くいかないことも多々ありますがそれも含めて全て勉強です。時間は掛かりますが、試行錯誤の繰り返しこそが子どもたちの成長に繋がります。このような大会を高校生主体で行っているところはありません。参加チームのスタッフだけではなく、観戦に訪れている保護者の方の評判も上々です。今後も、片倉高校サッカー部では地域の青少年の育成や貢献を積極的にお手伝いしていきたいと思っています。成長(人生)のヒントは自分の周りにたくさん落ちています。サッカー部員は卒業時に違いを見せるのです。

